

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT UNIX 8.0 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT UNIX 8.0 を国内リリースする運びとなりました。
以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- 1) Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX サーバ 8.0
- 2) Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX クライアント 8.0

2. 変更内容

- ・従来の 7.2 SP1 Update1 から、下記機能追加と不具合対策を実施致しました。

2.1 新規機能/追加機能

[A] サーバ側/クライアント側 共通

- 1) サポートプラットフォームに下記プラットフォームが追加されました。（詳細は 3. 参照）
 - a) IBM AIX 7.1 (POWER)
 - b) Red Hat Enterprise Linux 6 (x86, x86-64)
 - c) SUSE Linux Enterprise Server 10 (zSeries 64)
- 2) 認証用 X. 509 証明書のデジタル署名に SHA256 が追加されました。
- 3) RSA 鍵ペアを使用した公開鍵認証処理に SHA256 が追加されました。
- 4) "hmac-sha256"と"hmac-sha512"が、改ざん検知用 MAC(Message Authentication Code)デフォルトリストと"AnyStdMac"に追加されました。デフォルトでは"hmac-sha256"が最優先候補になります。

[B] サーバ側機能

- 4) 監査ログとしてファイル転送処理内容を有効化指定時に記録するようになりました。
- 5) "X11 転送"無効時に、XAuth メッセージ表示を抑止するようになりました。
- 6) 設定キーワード"PrintLastLog"を追加し、ログイン時に表示していた前回ログイン日時の表示有無が指定可能となりました。
- 7) 設定キーワード AccountManagement"に "aix"という新しい設定値が追加されました。
AIX の場合に本指定により公開鍵認証時に pam によるアカウント管理制限を無効化します。
- 8) 問題切り分け用として設定キーワード"SftpVersion"を追加しました。

[C] クライアント側機能

- 9) サーバ側ファイルのタイムスタンプ情報の表示仕様として、(時計ずれを配慮し)24 時間以内の未来時間の場合は、"年月日"情報でなく過去 6 か月と同じ"月日時分"としました。

2.2 不具合対策内容

[A] サーバ側機能

- 1) SSH 接続が確立されるたびに AIX コンソールに RSIT UNIX サーバのプロトコルバージョン文字列が表示される問題
- 2) RSIT UNIX 評価版をインストールした際に OpenSSH の hostkey を検知すると期限切れのメッセージを表示する問題
- 3) 設定キーワード"ForceSftpFilePermissions"と"SftpSyslogFacility"を設定し、かつ SSH サーバがデバッグモードで動作している場合に、sftp 接続が切断する問題
- 4) 設定キーワード"ListenAddress"の指定にカンマ区切りで複数指定出来ない問題
- 5) 設定キーワード"ChrootSftpGroups"又は"ChrootSftpUsers"有効時に、他社製 sftp クライアント (Axway, Bitvise) から接続出来ない問題
- 6) PAM の"use_first_pass"オプション有効時に、SSH ログオン期限切れパスワードの変更に失敗する問題
- 7) SSH セッション切断により maxlogins カウンタが -1 減算されない問題
- 8) Solaris セキュリティポリシー"/etc/security/policy.conf"の "LOCK_AFTER_RETRIES=yes"指定時に、指定に反し前回ログイン失敗試行内容を表示しない問題
- 9) PAM の"pam_lastlog.so showfailed"オプション指定時に、"Last failed login"メッセージを表示しない問題
- 10) AIX において "/etc/security/login.cfg"の "AIX mkhomeatlogin"有効指定時に、ログオン時にユーザホームディレクトリが作成されない問題
- 11) SLES 10, 11 において、GSSAPI 認証失敗時に、他の許可認証方法を試行せずに終了する問題
- 12) Solaris において"svcadm refresh"コマンド発行時に"保守状態"となってしまう問題

[B] クライアント側機能

- 13) Solaris において "Sun SSH"に代え RSIT を導入した場合に、Oracle Real Application Cluster (RAC) のインストールが失敗する問題
- 14) scp コマンドにおいて"-urp"オプション指定時に、ソース側ディレクトリとファイルが再帰的に削除されない問題
- 15) svn+ssh コマンドにより Subversion(SVN) リポジトリを更新時に、"Killed by signal 15"メッセージを表示する問題
- 16) "ssh2_config"にて 任意の接続先指定(host stanza)のコメントを解除した場合に、scp に限りサーバ側設定キーワード"CheckpointResume=No", "SmartFileCopy=No"が機能しなくなる問題

2.3 セキュリティの更新

- 1) CVE-2011-5000: 「gssapi-with-mic 認証が有効な場合に サービス運用妨害(メモリ消費)状態となる脆弱性」 対応
- 2) CVE-2012-2110: 「OpenSSL の ASN.1 データ処理時のメモリー破損発生によりサービス拒否攻撃などを許してしまう脆弱性」 対応

3. 対応プラットフォーム

- a) IBM AIX 7.1, 6.1, 5.3 (POWER)
- b) HP-UX 11i v3 (Itanium)
HP-UX 11i v2 (Itanium, PA-RISC)
- c) Red Hat Enterprise Linux 6, 5 (x86, x86-64)
- d) Sun Solaris 10 (SPARC, x86, x86-64)
Sun Solaris 9 (SPARC)
- e) SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86, x86-64)
SUSE Linux Enterprise Server 10 (x86, x86-64, zSeries 64)

※ 尚 今回 8.0 にて以下のプラットフォームの対応を終了致しました。

- a) IBM AIX 5.2 (POWER)
- b) HP-UX 11i v1 (PA-RISC)
- c) Red Hat Enterprise Linux 5 (Itanium)
Red Hat Enterprise Linux 4 (x86, x86-64, Itanium, zSeries 64)
- d) Sun Solaris 8 (SPARC)
- e) SUSE Linux Enterprise Server 9 (x86, x86-64, Itanium, S/390)

4. 入手方法

[A] ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様 :

- ・ 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし入手します。

<手順>

- 1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにアクセス :
 - i) 直接 URL <<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>> にアクセスする。あるいは、
 - ii) Attachmate 日本語ホームページ (<http://www.attachmate.jp/>) から
> [サポート] > [ダウンロードライブラリ] とブラウズする。
- 2) 「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページ内において、
お手元控えの“ユーザ名”と“パスワード”を使いログイン :
- 3) 表示「保守の内容」ページ内において、対象製品の“ダウンロード”をクリック :
- 4) 表示「Reflection for Secure IT UNIX Server」 or 「Reflection for Secure IT UNIX Client」
一覧において “ファイル名”をクリック :
～ “Current Product Release” に示す一覧が今回リリースしました最新の バージョン 8.0 です。
説明欄に示す該当プラットフォームの“ファイル名”をクリックし、次ページに進みます。
- 5) 表示「ファイル情報とダウンロード」内容を確認しダウンロード操作 :
～ 下部枠内の “輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します” をチェック
の上、“ダウンロード:” ファイルをクリックしダウンロードを開始します。

[B] シングルパッケージ購入のお客様 :

- ・ 7.2 以前のバージョンをご使用で、バージョン 8.0 へのアップグレードをご希望のお客様は、
下記メールアドレスまでご連絡下さい。有償にてバージョンアップを承ります。

j-info@attachmate.com

以上